

東邦大学習志野キャンパス 薬学部 薬用植物園の歩み



薬学棟から撮影した南園、温室の様子

一九二九年、東邦大学の前進である帝国女子医学専門学校薬学部の薬用植物園として設立されました。当初は現在医学部と看護学部がある東京都大田区の大森キャンパスの近くに設立しましたが、一九二六年に薬学部の習志野キャンパスへの移転に伴い現在の東邦大学習志野キャンパスのある千葉県船橋市に移動しました。

今回は老朽化とモニユメント設置に伴い二〇一六年から行われた薬草園のリニューアルに焦点を当ててご紹介いたします。当時の写真と共に楽しんでみてください。

引用元：<https://www.mnc.toho-u.ac.jp/v-lab/yakusou/yakusou.htm>

南園

工事前は見本園という名前でした。工事後は植栽を局方中心のものに替え南園に改名しました。見本園の大きな立て看板は現在北園とガーデンの入り口に設置されています。



↑旧見本園入り口



↑工事前の様子



←工事前の植物の掘り上げ。完成までは別の場所で保管。



←南園造成中。土が入ったら掘り上げたものを区画分けして植栽する。



←芝生だったところが車椅子でも入りやすいように真砂土に変更になっている。

北園

工事前は山菜や野草など珍しいものが所狭しと植栽されていました。工事後は民間薬中心のものに替え北園に改名しました。西側にあする夏みかんの木は過去の写真と見比べると一・五倍ほど大きく成長しています。



↑工事前の様子



←植栽してすぐの様子。



↑植栽していたものを引越し中

→コの字に並べた花壇に土を入れたあと、最後に開いている一辺を閉じて完了。

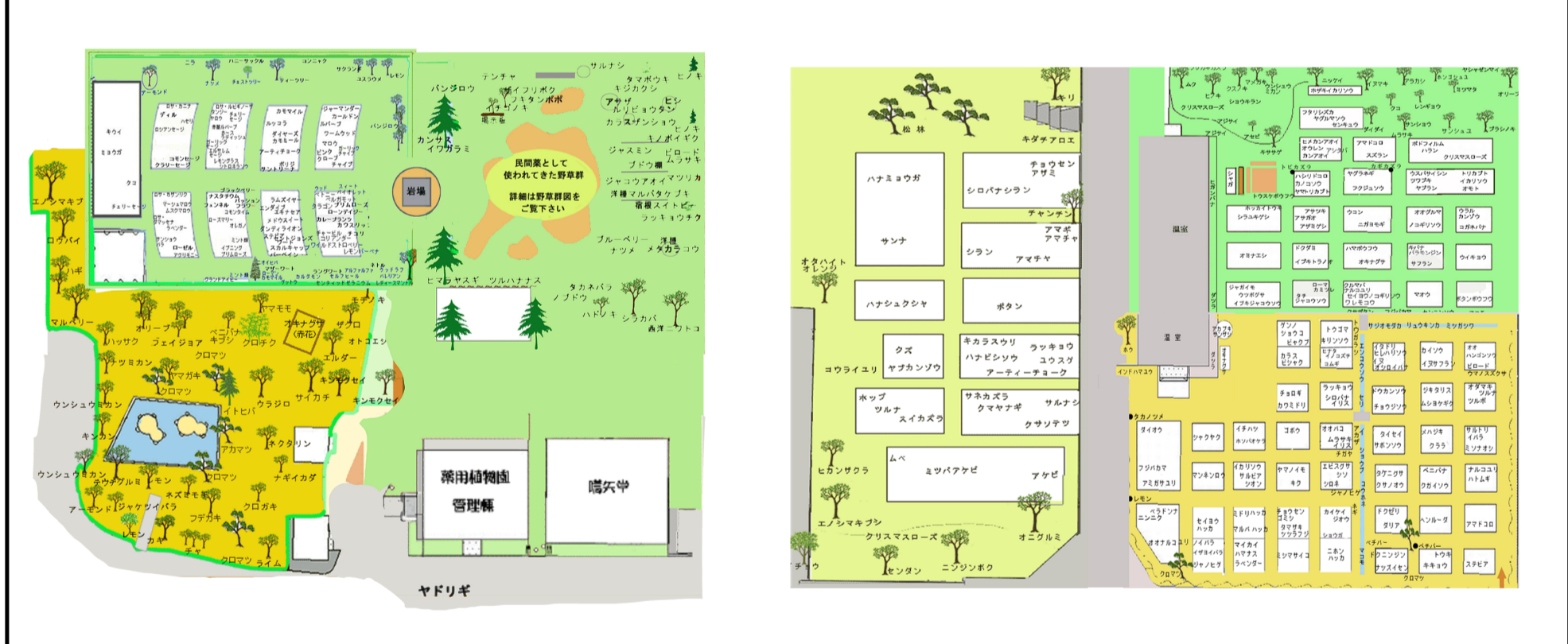


→現在の北園の様子。

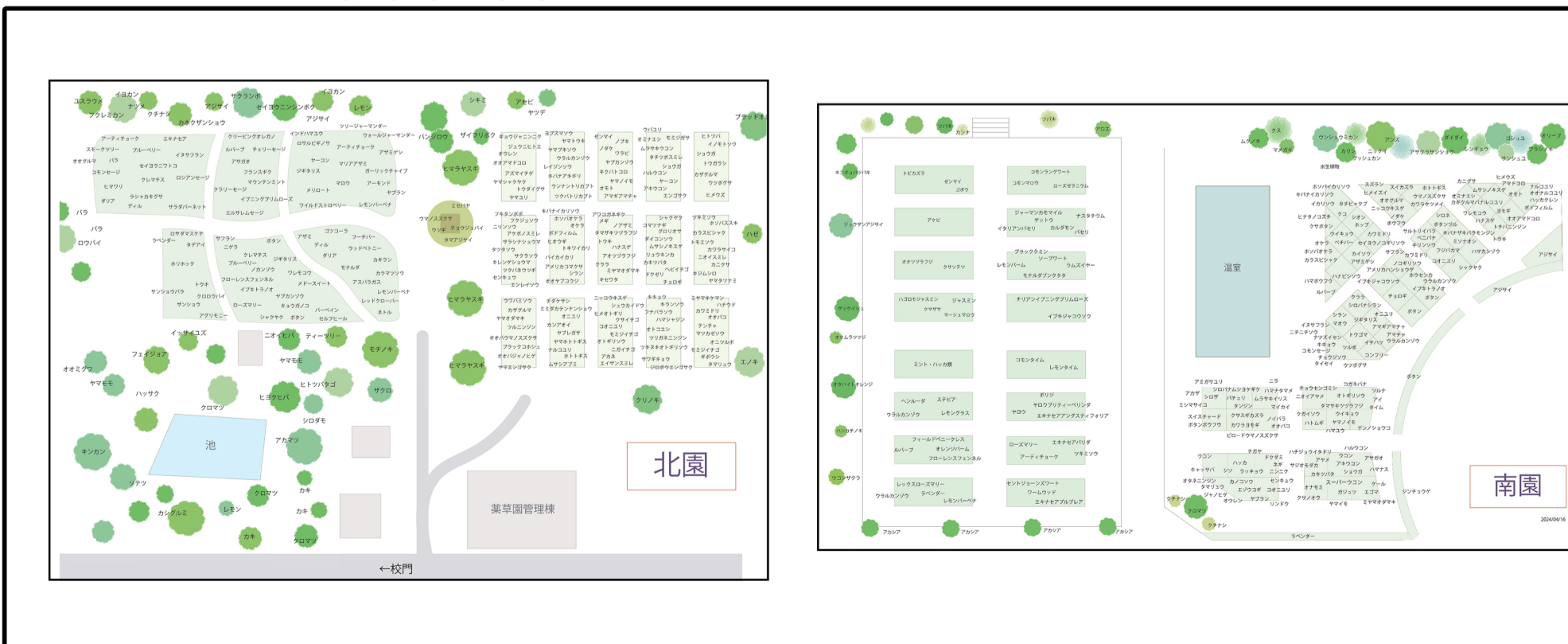
地図で比べる過去と現在

薬用植物園は現在、局方を中心に植栽している南園、民間薬を中心に植栽している北園、ハーブ園、温室、ガーデン、薬木園に分かれています。二〇一六年から行った工事の際に場所や花壇の位置などを大幅に変更しました。

旧薬用植物園地図↓



現在の薬用植物園地図↓



ハーブ園

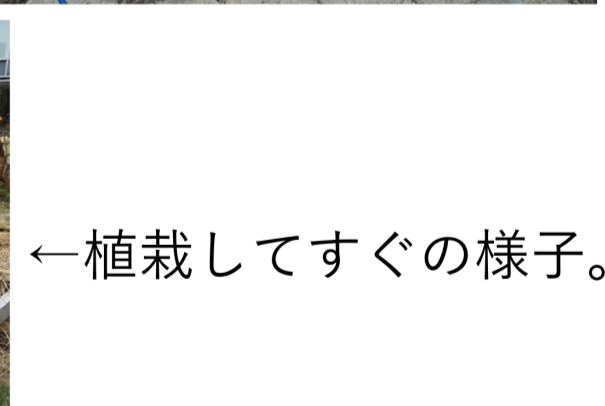
工事前は見本園西側という名称でした。ハーブを「人の役に立つ薬草」と広義に捉え植栽しています。ミントやバジルなど、一般の方でも身近に感じるようなものが多く植えられています。



←花壇造園。



→花壇設置完了。道には芝生を敷きつめてある。



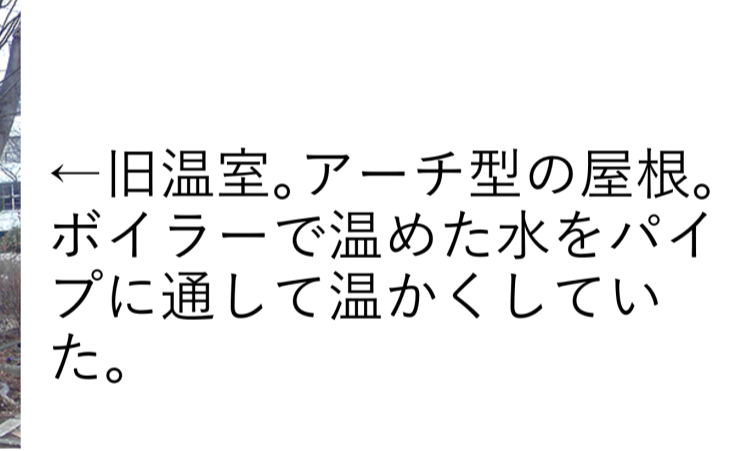
←植栽してすぐの様子。



→現在の様子

温室

老朽化のため新設されました。工事中に中の植物を仮住まいに移し、エアコンで二十四時間高い室温を保っていたのですが冬の環境の変化に耐え切れずに三分の二程がダメになってしまいました。



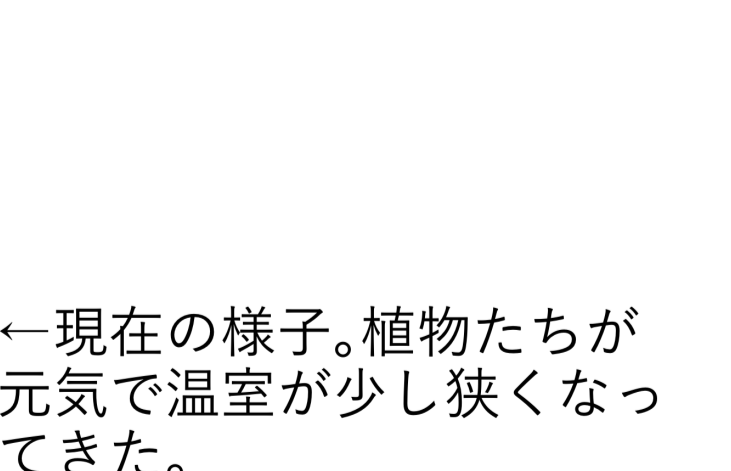
←旧温室。アーチ型の屋根。ボイラーで温めた水をパイプに通して温かくしていた。



→解体作業の様子。



↓新温室。三角の屋根。エアコンを用いて室温管理。自動開閉の窓がついている。



←現在の様子。植物たちが元気で温室が少し狭くなってきた。

